

第1回ワーキングでの主な意見と回答

会議名	開催日時	出席者	場所
第1回ワーキング	平成26年8月25日(月) 14:00~16:00	24名	加古川土木事務所2階 A、B会議室

項目	意見等	回答
設置要綱	協議会の継続 設置要綱では、協議会は平成29年3月31日で終了することになっているが、継続する方向でもいいのではないか。	設置要綱については、時期が来たら更新する。
河川下水道対策	対策効果 河川下水道対策については、対策による浸水の改善効果を示してほしい。	改善効果を検討する。 →【資料5で整備効果を浸水面積等で整理】
	河川対策内容 河川対策では、神戸市で実施している伊川、櫛谷川の河川改修を記載してほしい。	計画素案に反映していきたい。 →【資料3に反映】
	河川整備の目標と整備状況 最近の降雨における明石川の状況を考慮すると、30年に1度といった表現では、地域住民への説明はしづらい。	明石川では1/30での整備が完了しておらず、整備途中である。1/30という記載内容については再検討する。 →【資料5で整備効果を浸水面積等で整理】
	整備の目標条件 計画を策定する時には、想定している条件を提示してほしい。この条件を理解することで、考えるべき対策等がわかるような計画としてほしい。	条件については、わかりやすく整理し、提示する。 →【資料5でながす対策、ためる対策を整理】
流域対策	土地等の雨水貯留浸透機能 周辺にため池や水田が多くある地域といった地域性を踏まえた計画を検討してもらいたい。	地域特性を踏まえて、対策を検討していきたい。
減災対策	浸水による被害の軽減に関する学習 ひょうご防災リーダー講座等の研修は、神戸市西区の西消防署と協議しながらやっている。県と市の役割分担がわかりにくく、県が主導でどういう形で取り組んでいくのか教えてほしい。	計画書をわかりやすく、取り組みがスムーズに進められるような内容としたい。
その他	スケジュール スケジュールは逐一決まるのか。	スケジュールについては、決まり次第早急に連絡する。
	その他 整備計画が1/30であるのに対し、浸水想定区域が1/100とあるが、市民に対してこのギャップについて分かりやすく説明する必要がある。(意見)	